

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書 平成26年 7月 8日 大分県知事 広瀬 勝貞 殿 提出者 住 所 福岡市中央区那の津5丁目3番1号 氏 名 代表取締役社長 渡辺 茂樹 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 092-738-2002 廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	(株)北九州ジェイエイ畜産 SEW安岐ファーム
事業場の所在地	大分県国東市安岐町吉松3457-92
計画期間	平成26年4月1日～平成27年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	01 農業
②事業の規模	(牛 頭) (豚 10,500頭)
③従業員数	14人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	家畜ふん尿 : 自己堆肥化、発酵床へのリサイクル活用 家畜の死体 : 処理業者へ委託処理

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図)			
統括責任者	社長	<ul style="list-style-type: none"> ┌ 廃棄物処理方法決定 └ 廃棄物処理に関する責任 	
管理者	生産管理部長	<ul style="list-style-type: none"> ┌ 運搬・処理業者との契約管理 ├ マニフェストの保管・管理 └ 行政機関への報告 	
推進者	農場長	<ul style="list-style-type: none"> ┌ 廃棄物排出実務責任者 └ マニフェストの交付・管理 	
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（平成26年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	家畜ふん尿	家畜の死体
	排出量	19,000 t	32.27 t
	(これまでに実施した取組)		
家畜ふん尿 : 自己堆肥化 家畜の死体 : 処理業者へ委託			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	家畜ふん尿	家畜の死体
	排出量	19,000 t	30.00 t
	(今後実施する予定の取組)		
家畜ふん尿 : 現在の堆肥化を継続する。 家畜の死体 : 処理業者への委託を継続する。			
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)		

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（平成25年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	家畜ふん尿	家畜の死体
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	19,000 t	t
	(これまでに実施した取組) 自己堆肥化		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	家畜ふん尿	家畜の死体
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	19,000 t	t
	(今後実施する予定の取組) 自己堆肥化		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（平成25年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（平成25年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（平成25年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	家畜の死体	
	全処理委託量	32.27 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	32.27 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
処理業者への委託処理			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	家畜の死体	
	全処理委託量	30.00t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	30.00t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
動物性飼料原料として有効活用するため、従来通り処理業者へ委託する。			
※事務処理欄			